

科 目 名	地域とスポーツ	授 業 形 態	講義科目
担 当 者	大森 一宏、大山 明男、増田 珠子、太田 康友	単 位 数	2単位

スポーツを通して見る経済・経営・社会・文化

1. 授業内容

スポーツは、趣味や娯楽として、余暇に楽しまれることが多い。しかし、実際にはスポーツ・ビジネスなどの形をとって、企業経営と深くかかわる場合がある。また、プロスポーツの発展などは、地域の経済動向に強い影響を与えることがある。さらに、海外の社会や文化を理解するときに、スポーツは恰好な窓口ともなりうる。この講義では、スポーツを通して、地域のさまざまな社会事象を観察する視野を広げ、地域が抱える諸問題を考察するための思考力を養うことを目的とする。なお、本学教員以外に、西武ライオンズの球団職員の方々なども講義を担当し、地域に展開するスポーツビジネスの現場について、お話をしてくださる予定である。

2. アクティブ・ラーニングの要素

発見学習／問題解決学習・プロジェクト学習・PBL／リアクションペーパー

3. 到達目標

スポーツの歴史や現状の理解を通じて、地域に展開する社会、経済、経営、文化などの問題を検討する際に必要な課題発見力や論理的・多面的な思考力を身につける。

4. 到達目標となる駿大社会人基礎力/養成する能力要素

④論理的・多面的思考力／⑬課題発見力

5. 卒業認定・学位授与方針との関連

この科目は、ディプロマ・ポリシー（全学部）の「(2) 考える力」、「(5) 総合的な力」と関連しており、さまざまな角度から物事をみつめ、広い視野から筋道を立てて考える力を養います。

6. 関連科目

健康スポーツ演習、健康スポーツ実習

7. 授業外における学習方法及び必要な時間

授業前に指示された用語の意味を調べておくこと(2.0時間)。ノートや資料に沿って授業内容の復習をすること(2.0時間)。

8. 成績評価方法

評価方法	評価割合	成績評価基準等
レスポンスカード・リアクションペーパー	40%	授業への取り組みを評価する。欠席6回以上は成績評価対象外。
学期末レポート	60%	到達目標に対応して、学修到達度を確認するためのレポートを課す。

9. 課題に対するフィードバックの方法

レスポンスカード（リアクションペーパー）を配布・回収して、授業内で回答します。

10. 実務経験のある教員による授業科目等

担当教員の実務経験	実践的な教育の取組
—	—

授業計画	
第1回	ガイダンス／スポーツから見る海外事情
第2回	日独スポーツの話
第3回	ドイツのサッカー
第4回	ベルリンオリンピックとその時代
第5回	東京オリンピックとその時代
第6回	スポーツと地域
第7回	スポーツとビジネス
第8回	(特別講師) プロ野球の球団経営
第9回	(特別講師) プロ野球の球団広報
第10回	(特別講師) 選手の育成
第11回	イギリスのスポーツ
第12回	スポーツとマンガ
第13回	スポーツと情報
第14回	スポーツと統計
第15回	まとめ

11. テキスト・参考書等

書名	著者	出版社	ISBN	備考
—	—	—	—	—